



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第 101 号

2012.6.1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」
の名前をつかっています。

も く じ

お知らせ

- ー苅尾電波塔の発行日変更について
- ーゲンゴロウの展示について

活動報告

- ー大潰山の春植物観察会
- ーブナ林の野鳥観察会

観察会案内

- ー湿原の昆虫観察会
- ー霧ヶ谷湿原の植生調査（夏）
- ー霧ヶ谷湿原 夏の生き物観察会
- ーブッポウソウの観察会

お し ら せ

● 苅尾電波塔の発行日変更について

来月号より、苅尾電波塔の発行を毎月 1 日から
15 日へと変更します。ご了承下さい。

● ゲンゴロウの展示について

高原の自然館成体展示アドバイザーの奥山秀輝さ
んの協力のもと、ゲンゴロウを高原の自然館内の水
槽にて展示しています。ぜひご覧ください。



高原の自然館の展示の様子

観 察 会 報 告

● 大潰山の春植物観察会

開催日時:2012年5月13日(日)9:30

講師:暮町昌保・佐久間智子

快晴のおかげで、肌寒さも身を潜めた絶好の山登り日和の中、20名の参加者とともに、大潰山の春植物観察会を行いました。

まず、佐久間先生より、大潰山の地形や歴史と大潰山で見られる野草の説明がありました。また、大潰山が昔どのように人々の生活に関わってきたのかということや、山頂に咲く花の特徴、大潰山で見られるスミレの種類とその見分け方の説明がありました。

座学の後、車4台に分乗して登り口へ移動し、登山に入る前から、ツツジやシハイスミレが迎えてくれました。登山を開始してから、チャルメルソウ・ネコノメソウ・ハウチワカエデの花など様々な植物や、タゴガエルの卵が見つかりました。実際に触ってみたり、メモを取ったり、写真を撮影したりと、様々な形で観察を楽しみながらゆっくりと山頂を目指しました。山頂近くではニオイタチツボスミレが群生し、ダイセンミツバツツジが開花し、天気の良いさと相まって華やかさが感じているように感じました。また、頂上が近づくと、昔の呼び名である「柏原山」の由来となった、カシワも目に入るようになり、歴史を感じながら山頂に着きました。

山頂で記念撮影をした後は、西中国山地の山なみを一望しながらの昼食となりました。そして、昭和時代に植林された山々の移り変わりを聞いた後、下山を始めました。下山中も時折立ち止まっては、ヤマザクラやウワミズザクラなどのサクラの見分け方を教えていただいたり、登りでは見なかった植物を見つけては、名前を聞いたりしながらゆっくりと下山しました。下山してからの駐車場前でも、日中には葉と見間違える様なオオミズアオや、駐車場のアスファルトの隙間沿いにびっしりと一列に並んだつくしなど、最後の最後まで見る所がありました。最終的に40種類以上の植物を観察し、目的の一つであったスミレも、大半の花を観察することが出来ました。[はたもとやすひこ]



配布された資料を手に、スミレの見分け方を勉強中。



双眼鏡を手に、ナニガミエルかな？



エゾユズリハが見事につぼみをつけていた。



見事に咲いたニオイタチツボスミレの群生。名前の通り顔を近づけて匂いを嗅ぐといい匂い。

【みなさんの印象に残った物】

「ダイセンミツバツツジの美しい群落の山道を好天に恵まれ満足でした」「スミレの種類が多いこと、ツツジの種類も多いこと(2)」「カラスシキミ」「アケボノスミレに会えてうれしかったです(3)」「色鮮やかなダイセンミツバツツジ」「天気が良く楽しい観察でした」「たくさんスミレとたくさんツツジを見たこと。山での弁当を食べて気持ちよかったです」「ニオイタチツボスミレ」「スミレ(4)」「コシアブラ、食べられる。クロモジ、高級な！和菓子等についている自然と学習でき、同じような感性の皆様と一緒で、一日を満喫できました」「山の登り方に、楽しみながら登ることをあらためて感じました」



山頂到着の記念撮影。

【参加したみなさんの感想(抜粋)】

「植物の名前をいろいろ覚えられました。(2)」「分類がよく分からなかったスミレについてチェックポイントを佐久間先生から詳しく教えられ、よく理解できました」「自然を守る事の大切さを実感しました」「ニオイタチツボスミレ、いいにおいだったです。」「回数多くしては」「現場で質問が困難でした。(一列になるので後ろの方では)後での質問はムリ」「芽出しのやさしさにいやされました」「天気もよく気持ちのよい日でした」「久しぶりに参加させてもらいました。大変良い勉強になりました」「たくさん植物を見れて本当に良かった。今後ともよろしくお願いします」「先生の詳しい説明をきいて、植物の奥深さを感じました」「徐々に楽しい観察会でした。参加者のマナーも良くて楽しかったです。ありがとうございました」「参加された皆様が多くをご存知でいろいろ教えていただきうれしく思います。もっと中国地方の自然や歴史について知っていきたいと思います」「どうも有難うございました」



「ダイセンミツバツツジの撮影」を撮影。

観 察 会 報 告

● ブナ林の野鳥観察会

開催日時 : 2012年5月19日(日) 5:00

講師 : 上野吉雄

毎年雨が降るブナ林の野鳥観察会ですが、今年はずらしく晴れました。早朝にもかかわらず、15名の参加者が双眼鏡やフィールドスコープを持って、雪霊水の前に集まりました。

講師は上野先生です。早速車道を下り鳥の姿を見つけようと目を凝らしたり、耳を傾けたりしました。

この日に観察できたのは、全部で17種類でした。やはりアカショウビンの鳴き声が聞こえ始めると、姿探しに懸命になりました。しばらく待っていると姿を現しました。参加者みんなで双眼鏡をのぞきこみ、「思ったより赤いね!」「くちばしが大きい!」など口々に感想を話していました。

その他にもにぎやかにさえずるミソサザイ、物真似声が上手なクロツグミ、色鮮やかなソウシチョウ、アオゲラのドラミングなどブナ林の野鳥を満喫しました。

2年前の大雪や今年の夏の気温の高さで、今年の鳥の数が少ないとのお話も上野先生からありました。エサとなる植物や生き物の生育状況、また生息場所の気候の変化は、鳥の生息状況をも変えることも知りました。

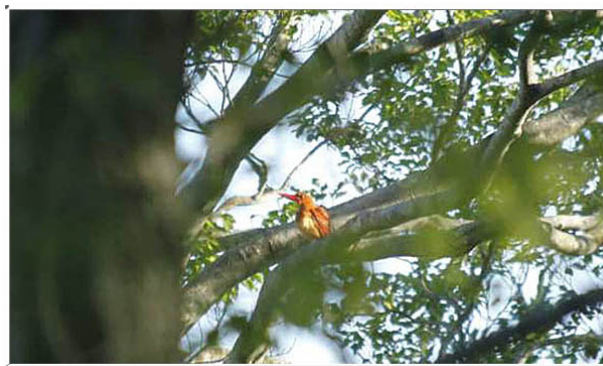
また野鳥に関心の高い参加者同士で、情報交換も行なわれていました。図鑑を見せていただいたり、フィールドスコープをのぞかせていただいたり、観察歴の長い参加者の方に、大変お世話になりました。また昆虫に詳しい方からは、カメノコテントウの名前を教えてくださいました。様々な方とふれあえるのも観察会ならではです。野鳥との出会い、そして人との出会いが楽しい観察会となりました。[このやよい]



何の鳥だろう？姿をキャッチできたかな？



愛らしい姿のソウシチョウだが、特定外来生物に指定されており、生息環境が似ているウグイスとの競合が問題視されている



この赤さが見えますか？鳴き声も姿も美しいアカショウビン。



大きなテントウムシ！カメノコテントウという名前を
教えていただいた。



フィールドスコープをのぞけば、鳥の姿がすぐそこに。



最後に全員で鳥合わせ。

【みなさんの印象に残った物】

「憧れのアカショウビン (6)」「アカショウビンを見れたこと (4)」「クロツグミの声がわかった」「立ち止まってゆっくり静かな探鳥会でした」「アカショウビンがはっきり見えてよかった (4)」「ミソサザイも、よく見えて良かったです！ (2)」「ソウシチョウ (2)」「ミソサザイのさえずり、アカショウビンを間近に見た！」「アカショウビン、クロツグミの鳴き声」

【参加したみなさんの感想 (抜粋)】

「天気もよく、鳥もよく出てくれたのが、幸運でした」「ゆっくり、自然を満喫できました。」「アカショウビンが見れてよかった」「たくさんの鳥を教えてもらえ、ありがとうございました」「楽しかったです。数は少なかったけれど珍しい鳥が見れました」「たくさん見れてよかった」「天気がよくてよかった。17種確認できた。」「初めて参加しました。いろいろみえてよかったです」「素晴らしい鳴き声で説明が楽しいし分かりやすい」「いろいろな鳥の鳴き声がきこえた」「なかなかみれなかったが、みんなで1つの鳥をそのつど確認することができてよかった」「つかれた」「楽しかった」「アカショウビンを見る事ができて本当に感激しました。ありがとうございました」「早朝ですが、来て良かったです。また参加します」

【観察した鳥類】

アオゲラ・オオアカゲラ・アカショウビン・クロツグミ・ツツドリ・トラツグミ・コルリ・オオルリ・キビタキ・シジュウカラ・ヒガラ・ヤマガラ・ゴジュウカラ・ウグイス・イカル・ソウシチョウ・ミソサザイ

観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

基本セット：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳
作業セット：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

● 湿原の昆虫観察会

開催日時：2012年6月23日(土) 10:00
集合場所：高原の自然館
講師：岩見潤治・松田賢
準備：基本セット、帽子、タオル、虫取り網、虫かご
参加費：一般=300円・賛助会員=100円
正会員・中学生以下=無料

水口谷湿原と霧ヶ谷湿原をまわり、昆虫を中心に、カエルなどの小動物を観察します。

初夏を迎えた湿原にはたくさんのいきものが生息しています。専門家の講師と一緒に木道を歩き、いきもの名前や生態を教えてください。虫取り網・観察用の虫かごをお持ちください。

● 霧ヶ谷湿原の植生調査(夏)

開催日時：2012年6月24日(日) 9:30
集合場所：高原の自然館
講師：大竹邦暁・佐久間智子・白川勝信・和田秀次
準備：作業セット
参加費：無料

霧ヶ谷湿原で年に二回行っている植生調査です。グループにわかれ、決められた範囲を数人で調査します。どんな植物が、どんな場所に、どの程度、生息しているのかを実際見て、霧ヶ谷湿原の今を感じましょう。植生がどのように変化しているかというお話も、調査を行う中で聞くことができます。

● 霧ヶ谷湿原 夏の生き物観察会

開催日時：2012年7月8日(日) 9:30
集合場所：高原の自然館
講師：岩見潤治・大竹邦暁・和田秀次
準備：基本セット
参加費：一般=300円
賛助会員=100円
正会員・中学生以下=無料

霧ヶ谷湿原をまわり、夏の生き物を観察します。昆虫と植物の密接な関係や、花の名前の由来など個性豊かな講師陣がみなさんを案内します。しっかり観察できるようにルーペや図鑑、観察用の虫かごなどもお忘れなく！

● ブッポウソウの観察会

開催日時：2012年7月15日(日) 9:30
集合場所：芸北文化ホール
講師：上野吉雄・松田賢
準備：基本セット、双眼鏡
参加費：一般=300円・賛助会員=100円
正会員・中学生以下=無料

絶滅危惧種であるブッポウソウの観察会です。フィールドに出る前に、室内でしっかり学習をし、巣箱を設置している場所へ移動します。数カ所の観察ポイントで、ブッポウソウの子育て環境を見たり、鳴き声を聞いたりしましょう。ヒナにエサをやるブッポウソウの姿に出会えるかもしれません。ブッポウソウの保全についてのお話も聞くことができます。

北広島町を拠点に活動しているバンド「ガイコッツ。」さんが北広島町公式体操ソング「でかけましょう」をリリースしました。この曲は「北広島町のいろんなところへいこーぜ！」ということをし、リズムに乗ってわくわく感いっぱい歌っています。身近にある自然や場所が歌にのって、町内外の方に口ずさんでもらっているのは嬉しいことだなあと感じます。(この)

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先
(ご意見・ご感想もお待ちしております)

高原の自然館(こうげんのしぜんかん)

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原 119-1

tel. & fax : 0826-36-2008

<http://shizenkan.info/>

staff@shizenkan.info